

觀測部月報

Monthly Report, Observing Section, O. A. A.

★

東亞天文協會

★流星課報告 METEORS (116) 課長 小槇孝二郎 (K. Komaki, President)

八月中に活動するものでは、いふまでもなく、王者ペルセウス(Perseids)大流星群であるが、本年は7日に満月があるので、観測には条件が悪い。月初め5日頃までは月没後、この流星群の前駆の出現状態を確かめたい。極大の11~13日頃は下弦前の月で著しく妨害されるが、大切な時期なので、見逃してはならない。輻射點は月はじめ、($\alpha=34^\circ$, $\delta=+55^\circ$)にあるが、次第に東方に移り、流星群の終熄する20日頃は($\alpha=60^\circ$, $\delta=+60^\circ$)となる。

この外では次のものが主な流星群である。(Other showers :)

期 間	輻 射 點	附近の星	備 考
上 旬	$\alpha=355^\circ$ $\delta=+60^\circ$	カシオペア β Cas	弱 光
上旬(七月下旬ヨリ)	340 -15	水 瓶 δ Aqr	長
中 旬 — 下 旬	296 +53	白 鳥 ϵ Cyg	速
下 旬	291 +60	龍 Dra	緩
八 月 — 九 月	346 0	魚 γ Psc	緩
月 末	86 +40	駭 者 ν Aur 1911 II 彗星	
	× × × ×		

五月初旬の水瓶 γ 群 (γ Aquarids in May, 1941) の出現は以外に豊富であつた。筆者の2回の観測は下表の通りであつた。

日 附 Date	開 始 Begins	終 了 Ends	時間數 Duration	流星數 Meteors		水瓶群 γ -Aqrd.	一時間 平 均 Hourly Mean	F	修正値 Correc- ted H. M.
				Rec.	Count.				
五月 May 2	3 ^h 12 ^m	4 ^h 2 ^m	50 ^m	8	2	3	3.6	0.7	5.1
5	2 43	3 53	70	16	7	17	14.2	0.7	20.3

5日朝の出現は筆者として20年來経験したことのない豊富さであつて、特に3時20分より30分に至る僅々10分間に7個の水瓶流星を記録した。光度は12個中2等半以上の明るいもの7個に及び、0等以上のものも2個あつた。(On May 5, the display was richest in past 20 years, 7 Aquarids seen during 3^h20^m-30^m; 2 were 0^M and brighter, and 7 among 12 were brighter than 2½^M.)

川人氏の觀測は1日、2日及5日のものであるが、何れも半時間の觀測であつて、夫々3個、1個、1個の水瓶群を見てゐるが、觀測時刻がやゝ遲きにすぎた爲、東天の薄明に著しく妨害されてゐる様である。(1941年五月、2日)

★黃道光課 ZODIACAL LIGHTS.

富田弘一郎氏から去る五月23日の日没後の觀測報告を得た。内地では此の頃が1年中の最も觀測困難な時であるが、臺灣や、其れより以南では黃道光はよく見える筈である。又、對日照は夏も冬も立派に見える筈であるから一般會員の御奮闘を望む。

尙ほ、八月以後は東天の黃道光が見え始める。木星が多少妨害するかも知れないが、金星は不在であるから、觀測者は勵んで頂きたい。

イタリアの E. Loreta ロレタ氏から下の通り觀測報告があつた：

E. Loreta 氏(Bologna), 1940年十二月1日(曉), 同17日, 27日, 29日, 1941年二月15日(夕).

E. Ghiglia 氏(Genova), 1941年二月21日, 26日, 三月20日(夕).

L. Lancelotti 氏(Livorno), 1941年三月18日(夕).

R. Valentini 氏(Milano-Lambrate), 1941年三月19日(夕).

戰亂の中に於いてイタリアの人々が此んなに觀測をしてゐるのは頼もしい。しかし、英米側からの報告のサッパリ來なくなつた。最近、獨ソ間の戰爭も始まつたので、シベリヤ經由の通信は閉ぢられたわけで、今後暫くは、殆んど外國のどこからも何も手に入らないかも知れない。(山本)

★彗星課 COMETS.

去る五月27日、東亞の一角である蘭印レンバン天文臺の Van Gent 氏は蝎座に10等級の一彗星(1941d)を發見した由。(急報483, 489等)天氣が悪くて、未だこちらでは一度も見られない。急報に注意して貰ひたい。(6-15, 田上にて)

★太陽課 SUN.

全國一帯に天氣が悪いセイか? 黒點觀測が餘り振はない。課員の諸君は大に奮發して、是非毎月20日以上の觀測を實行して貰ひたい。

倉敷の本田氏からは、毎日、太陽面圖に記入した黒點の詳細な報告を送られる。此の方法により、天氣の地方的な缺陷を補ふことが出来るのは喜ばしいことである。

太陽面の經緯度圖を新しく發行したが、之れの用法のわからない人々が幾らかあるらしい。何れ、近いうちに、本誌上に、この圖の使用方を説明したいと思つてゐる。

臺灣の日蝕も近づくが、今回の日蝕にも、去る1936年の北海道の時の如く、本會の會員たちは多數出かけて行かれんことを奨める。

太陽黑點相對數報告 (1941年5月) Sun-spot Relative Nos., May, 1941.

觀測者 Obs. (觀測地)	蔡章獻 (臺北市)	坂上務 (鹿兒島市)	本田實 (倉敷市)	竹内潤 (大阪市)	前橋榮太郎 (大阪市)	廣瀬辨三 (大阪市)	木邊成麿 (滋賀縣)	金田伊三吉 (石川縣)	大石辰次 (靜岡縣)	沓掛七二 (長野縣)	保積善太郎 (東京市)	高杉重春 (東京市)	富田弘一郎 (東京市)
口徑 mm	55	42	100	32	25	38	75	55	55	102	75	32	40
倍率 ×	64	64	60	50	54	50	60	64	64	75	32	64	32
方法	P	P	P	D	D	D	D	DP	D	DP	D	D	D
1	66	48	M		15	36	M	24	50	71	36	13	27
2	M	49	C		17		39	36	44	C	41	46	26
3	R		R		C		R	35	C	//	C	24	R
4	C	42	//		//		M	26	28	//	35	45	30
5	R		C		//		31	28	C	//	59	73	M
6	M		M		//		C	16	//	//	C	34?	//
7	27	37	14		25		M	C	30	M	36	25	17
8	M		14		C	13	20	//	R	14	23	M	17
9	25		13		24	24	C	R	14	C	0	0	0
10	25?		12	0	R		29	12	C	M	29		13
11	37		M		C		30	27	//	28	36	57	38
12	41		25		//	35	C	38	//	C	48	56	C
13	R		R		R		40	36	R	C	R	R	R
14	C		M	14	22	37	28	25	17	//	22	23	17
15	38		23		M	35	25	11	17	37	23	11	37
16	R		24		C		24	24	C	24	13	22?	C
17	47	25	C		R		M	24	//	R		R	R
18	48	23	R		M		//	22	//	C	11	22	C
19	R		35	12	11	11	22	11	22	22	11	11	12
20	//		38		25	23	67	26	51	53	22	22	M
21	//		39		31		C	25	65	C	34	39	//
22	67		C		C		M	23	54	79	28	C	//
23	77		26	12	M	31	//	R	27	79	41	34	//
24	R		39		//	43	//	C	37	R	R	57	//
25	48	43	R		//		//	36	R	R	R	R	R
26	M		23		C	25	//	C	27	C	35	34	M
27	R		23		//	23	//	//	C	R	C	C	R
28	C		23	0	//		//	//	//	22	11	0	13
29	R		11	0	//	11	//	0	11	11	11	0	11
30	//		M		13	12	25	11	12	14	11	0	12
31	//		//		12	33	25	33	23	M	25	33	36
日數	12	7	16	6	10	15	13	23	17	12	24	24	15
平均	46	38			20	26	31	24	31	38	27	28	20

略符號については第240號(六月號)を見よ。For the abbreviations, see No. 240.